

SUITA JC
45TH ANNIVERSARY

報 恩 謝 德

Index

3P 理事長挨拶 -Greetings-

4.5P ご祝辞 -Congratulatory address-

6P 編集後記 -Editor's postscript-

Supplement : 45 周年記念誌付録 -45th anniversary booklet-

理事長挨拶 -Greetings-

第45代理事長
田中敏之

2014年度スローガン
報恩謝徳

～感謝の気持ちを忘れず、
恩に報い、強かにまちづくりを～



ご挨拶

「人類の進歩と調和」をテーマとした日本万国博覧会が 1970 年にここ吹田の地で開催された記念すべき年に、箕面青年会議所のスポンサーにより、全国で 436 番目の青年会議所として、吹田青年会議所が誕生いたしました。それから当会は本年で創立 45 周年を迎えることができました。創立時からのこのまちに対する情熱を絶やすことなく当会の礎を築いてこられた先輩諸兄に敬意を表すとともに、当会の運動にご支援・ご協力を賜りました行政や企業、各種団体、地域の皆様、各地青年会議所の同志達に心より感謝し、あらためて厚く御礼申し上げます。

創立 45 周年を迎えるにあたり創立 40 周年で発表いたしました“2014 The Sustainable City その先へ”～持続可能なまち、その先に生まれてくる変化を、あらゆるつながりではなくむ吹田へ～ という中長期ビジョンをもとに運動を展開してきました。

そして本年におきましては、『報恩謝徳』～感謝の気持ちを忘れず、恩に報い、強（したた）かにまちづくりを～とスローガンをかけ感謝だけで終わらすのではなく、育ててくれたこのまちや人、すべてのつながりの恩に報いること、すなわち我々の運動にてお返しできるような活動しております。

わがまち吹田のまちなみは、ガンバ大阪の新スタジアム建設、エキスポランド跡地に複合型施設の建設、操車場跡地には国立循環器病研究センターの移転も決定し、この数年で大きく変わろうとしています。しかし、吹田市の状況が変化しても我々の運動の本質は決して変わることはありません。

新たに 50 周年に向けての中長期ビジョンを策定し、魅力あるまち“吹田”を実現するには今まで以上に行政・企業・各種団体・市民とのつながりを強化することによって生まれるシナジー効果により、新たなまちを創造していかねばなりません。

今後とも当会の活動・運動に対しご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ましてご挨拶とさせていただきます。

ご祝辞 -congratulatory address-



大阪府知事 松井 一郎

公益社団法人吹田青年会議所が創立45周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。皆様におかれましては、長年にわたり、明るい社会の構築に向けて、地域に根差した活動を展開しておられますことに、深く敬意を表します。

吹田青年会議所の今後益々のご発展と、お集まりの皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



吹田市長 井上 哲也

吹田青年会議所の創立45周年、おめでとうございます。長きにわたり、若い力による多彩な活動を通じて、市政推進、地域振興に多大なご貢献を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。歴代の役員をはじめとする会員の皆様に感謝と敬意を表するとともに、貴会議所の今後ますますのご発展、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、祝辞といたします。



吹田市議会議長 豊田 稔

吹田青年会議所の創立45周年を心からお喜び申し上げます。

貴会議所におかれましては、創立以来、吹田が活気に満ちた魅力あふれるまちとなるよう若者の英知と勇気と情熱を結集して様々な活動にお取り組みいただき、心から感謝を申し上げます。

貴会議所の今後ますますのご発展と会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



吹田商工会議所会頭 寺西 重博

吹田青年会議所が創立45周年を迎えられたことを、心からお祝いを申し上げます。

貴会議所は、創立以来、青年の英知と勇気と情熱をもって明るい社会を築くため、この吹田のまちづくり、ひとづくりに数々の輝かしい実績を積み重ねてこられました。これもひとえに歴代理事長をはじめ、メンバー各位のご努力と熱意の賜と敬意を表します。

45周年を飛躍の年として、貴会議所のますますのご発展をご祈念申し上げます。

ご祝辞 -congratulatory address-



公益社団法人日本青年会議所
第63代会頭 鈴木和也

公益社団法人吹田青年会議所が創立45周年の節目を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴青年会議所の45年に亘る歴史を紡ぎ、地域の発展に尽力されてきた先輩諸兄の功績に敬意を表すとともに、その志を受継いでこられた現役メンバーの皆様へ感謝とお祝いを申し上げます。また、田中敏之理事長の意気あふれるリーダーシップの下、「報恩謝徳～感謝の気持ちを忘れず、恩に報い、強かにまちづくりを～」のスローガンを掲げ、社会にインパクトを与える市民意識変革運動を展開されていることを嬉しく存じます。日本青年会議所と致しましても、「たくましい国」日本の創造に向け、全国各地の皆様と共に、意気あふれる人財の育成、活気に満ちあふれた地域の創造に努めて参ります。

創立45周年を機に、公益社団法人吹田青年会議所の皆様が一層の飛躍を遂げられますことを心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人箕面青年会議所
第49代理事長 佐藤 研

公益社団法人吹田青年会議所が45周年を迎えられた事を、スポンサーJCを代表し心より御祝申し上げますと共に今日に至るまでの先輩諸兄の多大なるご尽力に対して、スポンサーJC代表として心より敬意を表させていただきます。

本年度におかれましては報恩謝徳～感謝の気持ちを忘れず、恩に報い強かにまちづくりを～をスローガンに掲げられた田中理事長の卓越したリーダーシップのもと創始の精神と紡いできた歴史を継承し、創立45周年を新たなスタートにさらなる輝かしい未来への確かな一歩を踏み出されることをご祈念申し上げます、簡単ではございますがお祝いの言葉とさせていただきます。



香港浩洋青年商會
第27代會長 譚麗時

2014 JCI Ocean President
Angel Tam
Ocean Spirit, We can make it
Be Different, Be Shine.

It is my honor to represent JCI Ocean to present this congratulation message to our beloved Sister Chapter, JCI Suita, on her 45th Anniversary.

Since our sisterhood started in year 1988, our bonds get stronger and closer through our yearly visits, regular meetings in JCI events, and also collaborative

projects in the last 26 years. Our members would experience and learn more about each other by having meetings, participating in Sister Shield and visits. Though we have language and cultural difference, these only brought our members even closer and became good friends. We have successfully held joint projects such as Health Republic, Long March Project and Life Splendid Concert over the years. We are going to have the joint project again next year and we look forward creating another remarkable project for both Japan and Hong Kong children.

Lastly, I would like to express my blessings to President Toshi-san and his elite team. Happy Birthday and best prospect for JCI Suita.

親愛なる姉妹青年会議所である吹田青年会議所の45周年という節目に、香港浩洋青年商會を代表して祝辞を述べさせていただきます、大変光栄に思います。

1988年に姉妹提携を結んで以来、毎年の相互訪問や会議、国際青年会議所関係の事業など、過去26年間に渡り共同事業を続けてまいりました。交流を重ねる度に、我々の絆は強くなる一方です。今後も我々メンバーは、会議やスポーツ交流に参加する事で、お互いに理解を深め、良い関係を育んで行く事でしょう。

言語や文化の違いがあるにも関わらず、その障害を乗り越えるからこそ、より良い友情を築く事が出来ました。

今までもキッズタウンなどの様々なジョイントプロジェクトを成功させてきました。2015年には日本の子どもたちと香港の子どもたちの為に、また新たなジョイントプロジェクトを開催することを楽しみにしています。

最後に、田中理事長率いる吹田青年会議所の素晴らしいメンバーの皆様の前途を祝しまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。45周年本当におめでとうございます。

編集後記 -Editor's postscript-

私たちが、こころをこめて!!



公益社団法人 吹田青年会議所

吹田市広芝町 10-3 サニーストンホテル内

TEL 06-6386-1475 FAX 06-6337-1682

E-mail suitajc@suitajc.jp

URL <http://suitajc.jp/>



Special Thanks! Photo by Masao Takewaka

無事に 45 周年記念冊子が完成しました。ここに至るまで本当に様々な方々の尽力がありました。編集担当者を代表して厚く御礼申し上げます。

ここ数年は、いわゆる“団塊ジュニア世代”の卒業生を多数輩出し、当会にも世代交代の波が押し寄せています。現在、メンバーの多くは必ずしも経験年数が豊富であるとは言えません。しかし、今まで諸先輩方や関係各位から 45 年にわたり受け継いできた「つながり」のおかげで、会員一同は試行錯誤しながらも共に切磋琢磨して参りました。

また、当会は 2009 年（創立 40 周年の年）に全国に先駆けて公益社団法人格を取得し、激動のなかにある社会とともに 5 年間を駆け抜けてきました。45 周年を迎えるにあたり数々のご縁に感謝し、今後とも地域から必要とされ続ける存在としてこれらに報いる機会を私たちは手にしています。ここで青年会議所運動の原点に改めて立ち返り、来たる 50 周年への想いを新たにす 1 つの手段として、この周年記念誌を発行しました。

私たち青年が活動を通じて地域とのつながりをさらに広げ、与えられる数多くの機会をこの手でつかんで参ります。この吹田のまちから、“明るい豊かな社会”を築く一翼を担っていく想いを忘れることなく、JC 運動に邁進していく所存です。関係各位に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

周年式典委員会 委員長 平井雅俊

45 周年記念誌付録 45th anniversary booklet

拡げてみてください。

この度、「45 周年記念誌」を作成するにあたり、今までの物とは違う記念誌を作成したい。と考えました。

「もっとコンパクトに」

「情報をまとめて1面で見てもらえないだろうか？」

そうやって試行錯誤するうちに、巻末にポケットをつくり、拡げてみると昔あそんだすごろくのような冊子を入れてみてはどうだろうか？

という答えにたどりつきました。

表面には、40 周年から今に至るまでの5年間を中心とした、当会の歴史と主な出来事を。

裏面には、50 周年までのこれからの5年間、目指していくことと、私たちの「すいた」への想いを。

拡げてみてください。これは先輩たちが残してくれた道標をもとに作った、私たちがみなさまと共にさらに前に進むための地図です。



あなたにとって「すいた」とは？



理事長 田中敏之
空気のようにいつも意識しなくてもそこにあるもの。だからこそ、大切にしたいと思える場所。

直前理事長兼監事 小谷秀成
自分にとっての誇りであり、他には代え難い魅力のあるまち

監事 権野 結
ここで生まれ育った自分にとっては唯一無二な、古くとも新しいまち

副理事長 後藤恭平
自分は吹田で育ったと胸を張って言える誇れる最愛のまち。

副理事長 小山博司
今の私を育ててもらった場所だと思います。吹田で生まれ育ったことに誇りを持って生きていきます。

副理事長 西川智史
人は城、人は石垣、人は堀。多くの人が住む、可能性豊かなまち、吹田！

副理事長 中村昭一
故郷（ふるさと）。生まれも育ちも吹田なので、子供たちにも誇れる「故郷」吹田にしたい。

専務理事 櫻田浩太
私も会社もこのまちに育ててもらった。今後もまちの為に尽くしていきたい

財務理事 曾我部 晋太
育ててくれたまち。そして、これからは恩返ししなければならぬまち。

事務局長 藤本英明
自分を育ててくれる。自分にとってかけがいのないまち。

周年事業委員会委員長 清水良寛
自然や公園が多く、人と人との繋がりもあって、子どもが明るく元気に育っていく、素晴らしいまち

例会運営委員会委員長 小川利幸
ニュータウン、大学、鉄道、物流、そして実は起業家の多いまち。

広報渉外委員会委員長 谷口陽子
人・自然・ビジネスが共存する、私にとって憧れの土地であり、第二の故郷です。

総務委員会委員長 亀井義明
産まれ育った街。そしてずっと家族と居たい、かけがえのない街、吹田。

会員交流委員会委員長 濱野 夕希子
大切な仲間が居る、私の夢を叶える JC がある、大好きなまち、吹田。

会員拡大委員会委員長 竹若雅男
心の拠り所であり、心底誇れるまち。

周年式典委員会委員長 平井雅俊
ここが一番すてきな街だ！って知らせてくれる魅力が、地域にいっぱい備わっている場所。

未来を創る

吹田青年会議所が、地域と共に目指すもの…
2014年から2019年のビジョン

1
◆人材を活かしたまちづくり
すいたに関わるひと一人ひとりの郷土意識をはぐくみ、責任感・使命感をもたらすことにより、市民自らが新たなすいたを創造する。

2
◆組織を活かしたまちづくり
行政・企業・各種団体・大学をはじめとする諸団体とのつながりを強化し、つながりが生み出す新たなすいたを創造する。

3
◆地域を活かしたまちづくり
過去から脈々と受け継がれてきた文化・歴史・経済・政治などを再認識し、時代を捉えた新しいすいたを創造する。

50周年に向けた中長期ビジョン
かたち
想いを現実に
社会のニーズを感じ、シナジー効果を生む運動に取り組み、わがまちに新たな価値を創造する。

45周年に向けた中長期ビジョン
2014 The Sustainable City その先へ
持続可能なまち、その先に生まれてくる変化を、あらゆるつながりではなくむ吹田へ

世代の違う人が、つながる
世代間交流事業の実施

青年とまちが、つながる
会員拡大の実施

CSRとまちづくりが、つながる
LOOP経済システムの実施

人と自然が、つながる
環境事業の実施

イデオロギーの違う人が、つながる
選挙公開討論会の実施

異国の人が、つながる
国際事業の実施

50周年に向けて、私たちはこんなビジョンを掲げます！
このビジョンを元に、吹田のまちづくりに貢献したいと考えます。

吹田青年会議所の運営メンバーに、あなたにとって「すいた」とは？という事を聞いてみました。
縁あってこの記念誌を手に取り、ここまで読んで頂いたあなたに最後にお聞きします。
あなたにとって「すいた」とはどんなまちですか？
こうなってほしいと願う姿をしていますか？
この記念誌が、少しでもわがまちについて考えてみるきっかけになると幸いです。
きっと全てのまちづくりは、そこから始まるはずですから。吹田青年会議所は今も昔もずっと考え続けています。そして、これからも…。

あなたにとって「すいた」とは？



吹田青年会議所の歴史 - Time Line -

吹田青年会議所創立

初代理事長 木村 俊之 1971 曾呂利 昌弘

10周年

1972 井上 義信

1973 増田 泰士

1974 関山 守洋

1975 井上 暎夫

1976 加野 元

1977 藤満 宣夫

1978 瀧川 紀征

第10代理事長 川上 浩邦

1980 関山 正彦

1981 成尾 紹雄

1982 中川 克

1983 堀田 稔

1984 安達 昌秀

1985 家村 武志

1986 足立 善信

1987 柳川 義行

1988 井村 卓治

20周年

第20代理事長 木村 義雄

1989 昭和天皇崩御
平成が始まる

1990 西川 哲成

日本や世界の重大ニュース

日本万国博覧会が吹田の地に於いて開催
オバマ大統領就任
新型インフルエンザが世界で大流行



共通一次学力試験の初実施
ウォークマン大流行



台湾で M7.7 の大地震が発生



ホテルニュージャパン火災
500円硬貨発行



日航ジャンボ機墜落



阪神淡路大震災発生

昭和天皇崩御
平成が始まる



2009

2009 瓜生 晴彦

2006 橋本 芳信

2007 山本 多通男

2008 瓜生 晴彦

40周年

第40代理事長
瀧川 健一郎



BelieveYour Possibility
～夢と絆が可能にする、すいたのまちづくり～

- ◆ジョイントプロジェクト
- ◆「D-Suita」
～あなたのDを探してみない?～
- ◆衆議院議員総選挙公開討論会
- ◆40周年記念式典の実施
- ◆11月度公開定例会
「夢をかなえる!無限の可能性」



2009年7月10日
全国の青年会議所に
先駆けて公益社団法人格取得

2010

第41代理事長
長井 裕司



輝く新しい夢へ・・・
～ほほえみ広がるまち吹田の創造～

- ◆「中高生」と「まち」を変えた物語
～一緒に作ろう感動舞台～
- ◆「D-Suita」
～子どもが主役のまちキッズタウン～
- ◆「あつまれ!吹田のエコチエ」
- ◆「子育てお悩み解決講座」
親が変われば子どもも変わる
- ◆「知ろうよ!吹田」



2011年3月11日
東日本大震災発生
三陸沖で発生したマグニチュード 9.0の東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大災害。最大震度 7 の強い揺れと国内観測史上最大の津波を伴い、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害をもたらした。また、東京電力福島第一原子力発電所が被災し、放射性物質が漏れ出す深刻な事態になった。



- ◆街頭募金活動を吹田市内各地で展開しました。
- ◆姉妹 JC である浩洋青年商會から託された義捐金を、岩手県大槌町の教育委員会に届けました。

2011

第42代理事長
堀田 誠



誠意工夫
～調和から生まれるコミュニティをつくらう～

- ◆吹田市長選挙公開討論会
- ◆「D-Suita」～子どもが主役のまちキッズタウン2～
- ◆みんなで創ろう感動舞台!



2013

第44代理事長
小谷 秀成



「感動がひとをつくり吹田(まち)をつくる」

- ◆4月度公開定例会
「明日の環境とエネルギーを考えよう!」
- ◆7月度公開定例会
「台所から生まれる家庭の絆」
- ◆「夢・出会い・感謝」
～君の一步が感動を生む～

2012

第43代理事長
西川 滋夫



We Have a Dream
～今日よりも明日が理想のまちであるために～

- ◆「みんなで創ろう感動舞台 2012」
- ◆ジョイントプロジェクト 2012 in 香港



45周年

第45代理事長
田中 敏之



報恩謝徳
～感謝の気持ちを忘れず、
恩に報い、強かにまちづくりを～

45年間の「絆」によって育ててくれた、このまちや人に感謝し、受けた恩に報いるという精神で、JC 運動をメンバーとともに決して驕ることなく強かに展開してまいります。



Continued on the 50th anniversary

公益に関わる事業の展開